

オープンオーダーを日々研究してわかった 狙うべきポイント

損切りになりにくいポジションの作り方

FX交流掲示板管理人 honda

オープンオーダーを毎日検証してわかった 損切になりにくいポジションを作ることの大切さ

自分はFX交流掲示板管理人のhondaです。

FXのトレードを行いながら日々トレードの向上を目標にいろいろな検証を行っています。

毎日オープンオーダーを見てチャートと照らしあわせながら考えていくと一日の流れやヘッジファンドがどのポジションを潰しにしているのかわかることがあります。

完璧にわかるわけではありませんがチャートの条件やポジションの大きさファンダメンタルズの折り込み度などでわかりやすいところを考えてポジションを取り損切を置く位置を考えることで利益が出るようになりました。

その例をいくつか紹介したいと思います。

まずオープンオーダーの見ることのできるサイトを紹介します。

自分はオANDAのオープンオーダーを見ます。

もう一つヒロセ通商の口座を使っているのでそちらのオープンオーダーを見て確認します。

ヒロセはニュースからfxwaveで配信しているオープンオーダーが15時や21時ごろに送られてきます。

一緒に見比べながら見ていきます。ほかのFX業者でも見ることはできますが、この組み合わせが自分は見やすいです。いろいろ見比べて自分に合ったものにしてもいいと思います。

オANDAのオープンオーダーはグラフで見ることができます。このグラフを全体的に見て大きくたまっているところをじっくり見ていけば大丈夫です。

トレードスタイルは人それぞれですが4時間足や日足と照らし合わせながら見ると比較的に見やすいので自分は主にスイングトレードスイングトレードの時にしています。

デイトレードでも意識はしますが、じっくり流れを考える程度です。

トレードはどちらに動くのかわからないのが前提です。それはヘッジファンドなどのおおきな資金を動かしている人たちに左右されるからです。簡単に考えるとヘッジファンドが買いを入れてくるところで買えばいいのです。また、ヘッジファンドが買いを入れてくるところよりも下に損切を入れて置けば損切にかかりにくくなります。

そのことを考えながらこのレポートを読んでみてください。

今回はまず3パターン紹介します。

その3パターンは
レンジ
ダブルトップ
ヘッドアンドショルダー
です。

考え方はすべて一緒です。むずかしくはありません。

このパターンは結構どこのサイトでも書いてる事です。

しかし、うまくトレードできていない人もいないのでしょうか。

この3つはトレンド転換を示唆するものです。

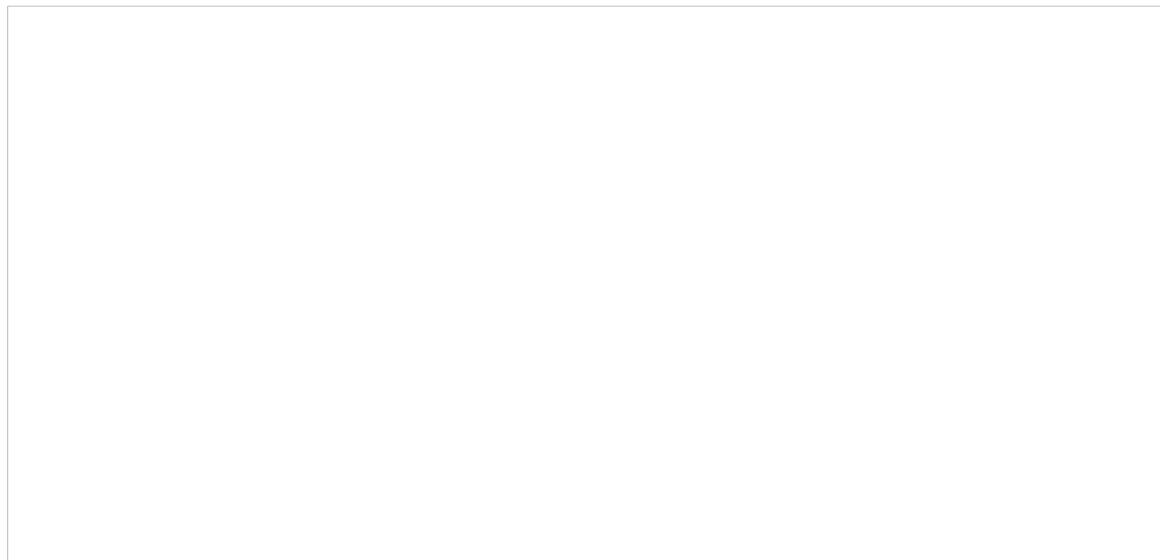
このパターンを確認してエントリーしてもトレンド転換しないこともあります。

このパターンとオープンオーダーを確認することで機能するものとしらないものを見分ける

ことができます。自分が毎日チャートとオープンオーダー検証して見えてきました。

確実に100%負けなしとかいうわけではありませんがある程度判別できるようになってきました。いろいろデータがあるんですがとりあえず簡単にわかりやすく説明しやすい3パターン説明します。

レンジ(買いの場合)



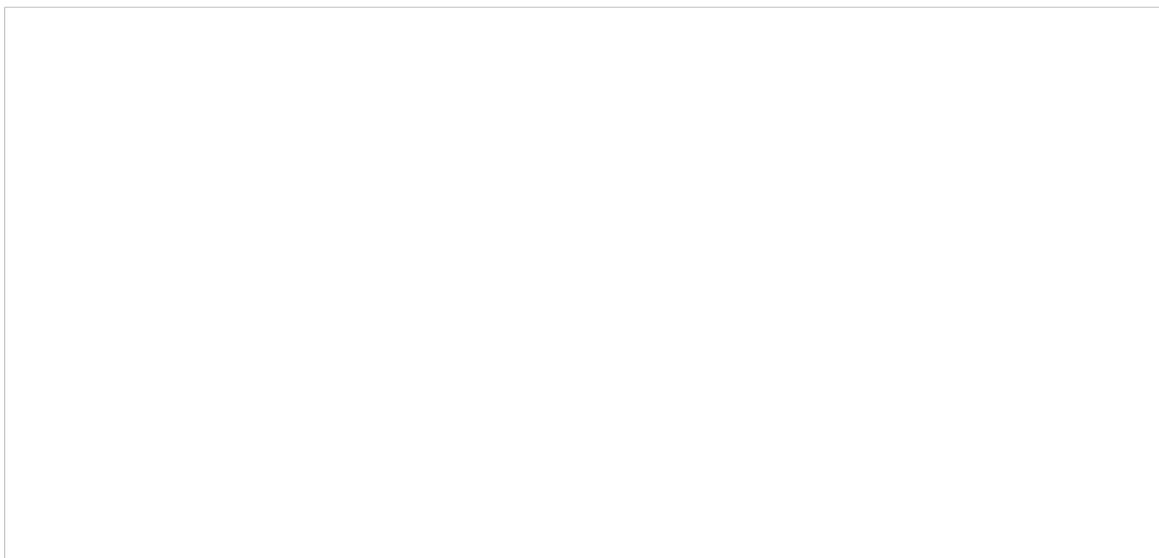
レンジはブレイクしたあとを狙います。

ここのネックラインに買い注文があるときにトレードします。(ネックラインは赤のラインです)

スイングトレードですのでブレイクした次の日ぐらいから買い注文が多くたまっていることを確認してエントリーします。損切はレンジの中です。

ダブルトップ(売りの場合)

ダブルトップが完成しそうになると上のところに売り注文があります。



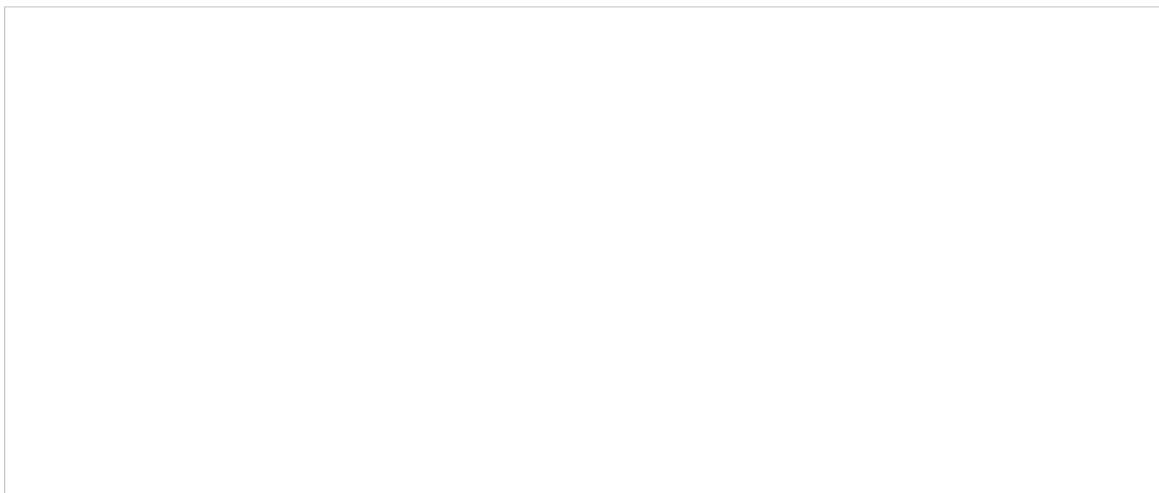
その後ネックラインを超えて本格的に完成します。

そしてネックライン付近に売り注文がたまりだしてから売り注文です。

損切はネックラインの上です。

ネックラインを超える前にエントリーするとだましの可能性ががあります。

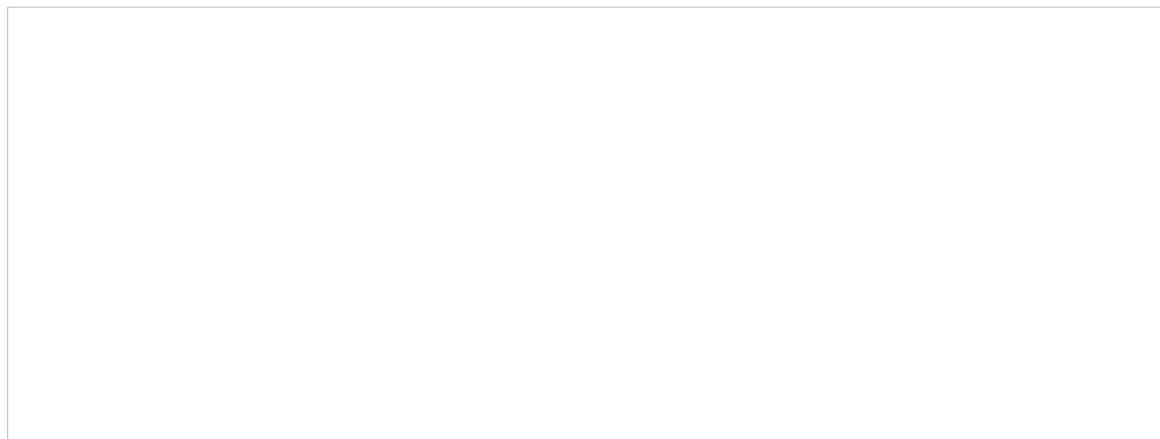
よくあるのが三角持合いになったりその後上にブレイクしたりします。



ヘッドアンドショルダー(買いの場合)

ヘッドアンドショルダーもほとんど同じです。

ネックラインを超えてオープンオーダーを確認してエントリー損切はネックラインのしたです。



ヘッドアンドショルダーのときは場合によって早めにエントリーしていけるところもあります。それは今度まとめて紹介します。今回のレポートではこの3パターンの流れを覚えてください。

このことを知っていればこても効率のいいトレードができると思います。

今他にもいろいろとパターンや対応の仕方があります。順張りをしたほうがいいところや逆張りで攻めていったほうがいいところ毎日オープンオーダーを研究していくとわかってきました。

読んでいるとわかったと思いますが、オープンオーダーを確認してエントリーするとエントリーすると遅くなってしまうのでスイングトレードで主に使っています。

ネックライン付近で引き付けてエントリーするのがポイントです。

いろいろと書いてきましたが簡単に言うとオープンオーダーは大衆心理を表しています。

オANDAやヒロセのオープンオーダーを見ると市場参加者がどれくらいいるのかはどれくらいいるかはわかりませんが一定の人がこれくらいの目線で考えていることがわかってきます。どれくらいの信用性があるのかあるのか確かめることは難しいです。でも選挙の投票を考えてみてください。開票率が5%とかでも当選確実とか速報がでます。これは統計学により計算されています。一定の母体数の中の割合を見ることである程度信頼性のある数字が出るというものです。

例えば自分が100円から101円のレンジ内だと思い100円と101円で逆張りしてトレードしようと考えたとします。

そのときオープンオーダーを確認すると99円と102円のレンジにオーダーがたまっていて市場参加者は99円から102円のレンジだと想定しているかもしれません。

無駄なトレードが減らすことができます。すべてうまくいくわけでもありませんが、フィルターみたいな使い方がいいと思います。

こういう手法にあったトレード方法やインジケーターなどできるだけ紹介したいと思っているのでまとまったらまた書きたいと思います。

自分のサイトでも紹介しているのでのぞいてみてください。

FX交流掲示板

<http://fx-kouryu.net/>

FXコラム

<http://koramu.fx-kouryu.net/>

スイング連動企画

<http://kikaku.fx-kouryu.net/>

主にスイング連動企画でオープンオーダーのことを相場を見ながら書いています。

この企画はyamasowさんのブログと連動して書いています。

yamasowさんのブログ→<http://yamasowfx.fc2.com/>

読んでいただきありがとうございました。

作者 FX交流掲示板管理人honda

注意事項

この文章は無料で配布しています。投資をこなう際は自己責任でお願いします。自分の考えを書いているものなのでクレームにはお答えできません。また転売や利益目的で使用することはやめてください。

